



▲サミットアピールを宣言しました

秋台風と秋雨が、行事に様々な影響を与えた10月でした。秋祭り、スポーツ行事、日本丸、全国女性町長サミット、大中遺跡まつり前夜祭など、多くの行事が予定されていた中、残念ながら中止になったものもありますが、挙行了したのは雨天にも関わらず、多くの方々にご来場いただきました。ありがとうございました。

◆10月12日大型帆船「日本丸」が寄港しました。300人の小学生たちと播磨南高校生の演奏で出迎えましたが、これを皮切りに普段はテロ対策で立ち入ることのできない港が、連日多くの来場者で賑わいました。こんなにも多くの方々が楽しみにしていただいていたことにも感激いたしました。雨のため、予定されていたセイルドリルや登しょう礼は中止となりましたが、船内見学では、実習生や乗組員の温かいおもてなしを受けました。最終日は「登舷礼」で感動的な出航となりました。期間中、シャトルバスや乗船のために、傘をさして長い列を整然と並んでいただき、事故もなく無事に終えることができました。また、海上保安庁にも巡視艇の見学でご協力をいただきました。ありがとうございました。港があるまちとして、次は「海王丸」にもチャレンジしてみたいと話しています。

◆10月19日から20日にかけて、全国女性町長サミットを開催しました。20日の午前中には町内各種団体の代表と意見交換の場を持ち、午後は玉岡かおるさんの基調講演の後、6人の町長がそれぞれの政策や女性活躍についての意見を発表しました。会場には町内外より300人以上の方々にご来場いただきましたが、改めて関心の深さを実感いたしました。時間があれば、それぞれの思いをもっともっと聞いていただきたかったと思っています。ご来町いただいた女性町長たちのご活躍をお祈りします。

播磨町長 清水ひろ子

## 全国から女性町長が集結 「第5回全国女性町長サミット in 播磨町」を開催しました

企画グループ ☎079(435)0356

現在全国には、7人の女性町長がいます。このサミットは2年に一度、会場を各町に移しながら開催し、男女共同参画やまちづくりなどについて意見交換をしています。第5回の開催地となった播磨町では、「女性の活躍が社会を変える～誰もが輝く社会を目指して～」をテーマに、福岡県苅田町の吉廣啓子町長、栃木県野木町の真瀬宏子町長、埼玉県長瀬町の大澤タキ江町長、高知県のいの町の池田牧子町長、青森県外ヶ浜町の山崎結子町長の5人をお迎えしました。(神奈川県二宮町の村田邦子町長は公務の関係で欠席)

10月20日のシンポジウムでは約300人の来場者のもと、小説家の玉岡かおるさんによる基調講演。続いて、北海道東神楽町の川野恵子元町長のコーディネートで、6人の町長が意見を交わすパネルディスカッションを行いました。最後に、サミットアピールとして、『家庭・地域・各種団体・企業・行政が協働し、誰もが輝くことのできる社会を目指していきましょう』と宣言し、「第5回全国女性町長サミット in 播磨町」を締めくくりました。

※このシンポジウムは、全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施しました。

## 第27回大中遺跡まつり 盛大に

生涯学習グループ ☎079(435)0565

11月4日、町の一大イベント「大中遺跡まつり」が催されました。今年は町内出身のシンガー Masaco さんや、町内在住の岡部祐希さん(民謡)にもステージを彩っていただきました。



**楽屋裏**  
全国の女性町長と町内各種団体から参加した30人の女性で、意見交換会が行われました。「女性活躍」というサミットテーマにふさわしく、女性が社会で活躍していく中で、誰もが悩む仕事とプライベートの時間の使い方や、働き方について各町長の体験をもとにお話を伺いました。企業から参加した女性は「最近女性の採用が増え、男女比が近づくにつれて、様々な仕事の機会を与えてもらえるようになってきたと感じている」「町長という立場でも仕事上の困難がいろいろあるとわかり、励まされたい」と感想を聞かせてくれました。(宮)

## はりま津波避難ウォーキングを実施

危機管理グループ ☎079(435)0991

第27回大中遺跡まつりの開催に合わせて、はりま津波ひなんウォーキングを実施しました。今年で5回目を迎えるこの訓練には、159人が参加し、自宅などから避難経路や所要時間の確認をしながら、津波避難目標地点である大中遺跡公園・野添北公園までそれぞれウォーキングをしました。

### 参加者の声 中島はるかさん(10歳)



「はりま津波ひなんウォーキングに参加することで、本当に津波が起こった時に、慌てず避難できるようになると思うので、非常に良かったです。大

中遺跡公園まで歩いてくるのにだいたい30分くらいかかり、私が思っていた以上に早く着きましたが、もし災害が起こった場合は「遠いな」と感じます。大切なのは、災害に対する心構えと自分の身を守ることを一番に考えることだと、この訓練を通して思ったので、非常持ち出し袋を用意するなど、心構えを持ちながら、いざというときは自分の身を一番に守れるように、日ごろから考えていきたいと思います」

## 山元町からの手紙

今回は10月8日に開催された「山元はじまるしえ」の様子を報告します。

町内の様々な地区の魅力を「まるしえ(市場)」を通して、地元の人と参加者がにぎわいや活気を作るイベントで、今年で3回目の開催となります。

会場でははらこ飯やりんご、マコモダケといった地元産品が販売され、ふくらはぎに似たマコモダケにちなんだ美脚コンテストも行われました。

藤原 洋介



※震災復興支援のため、播磨町職員が宮城県亘理郡山元町に派遣されています

## 平成29年度まちづくり講演会を開催

都市計画グループ ☎079(435)2366

住民が、まちづくりについて考え、学ぶ機会として、10月29日にまちづくり講演会を実施しました。

今回は、コミュニティファシリテーターとしてご活躍されている佐伯亮太さんをお迎えし、「参加型まちづくりのはじめかた～自分たちのまちはじぶんたちでつくる～」をテーマに、大学・大学院で学んだ建築デザインやまちづくりの知識を活かした事例を紹介していただきました。住人ファーストのコミュニティを目指し、人を巻き込みながらまちづくりを播磨町で実践している体験を通し、これからのまちづくりに有意義なお話をしていただきました。



## わんぱくはりまっこ



2歳

あらた えめ  
荒田 依芽ちゃん  
(上野添)

元気いっぱい優しい子に育ってね。  
(パパ・ママより)